

自分だけは大丈夫と思っても、「マルウェア」はそこにある

石井です。

つい先日、「コンピューターの動作が遅くなっているので改善する」という表示をそのまま鵜呑みにして実行してしまった方から相談を受けました。もちろんこれもマルウェアの一種で、強制的にインストールをさせたあと、有償版を買いなさいとつこく表示してくるソフトウェアです。表示が消えないため、ヘルプを要請されました。

確かに表示はWindowsのダイアログボックスに似ていますが、元の表示はweb上の広告です。この手のソフトをインストールしてしまう方は、知らないうちに自分のPCが悪用されている可能性がありますよ、と説明しました。

5月には年金機構から個人情報流出というニュースがありました。これも標的型メール攻撃によるマルウェアの感染だそう。コンピューターウイルス、ワーム、トロイの木馬など、パソコンのセキュリティを脅かす存在を、今日ではひとまとめに「マルウェア」ということが増えました。要は、「悪意のあるソフトウェアの総称 (malicious software→malware)」です。「悪意」の定義が曖昧なので正確に議論しようとすると大変ですが、だいたいそんなものだと思って下さい。



Windows 2000やXP時代は、ファイアーウォールが無い状態でインターネットにつないでいるだけでウイルスに感染する危険性がありましたが、日々重ねられるアップデートと共に、黙っていてもやらしてしまうようなセキュリティホールは少なくなっていました(と同時にパソコンはどんどん重くなっていきました…)。

最初は単なる嫌がらせのようだったウイルスやワームの挙動は、次第に大量のSPAMメールを送るための踏み台の生成や、特定の機関を狙って情報を抜き出すような形に進化を遂げていきます。

制作者の狙いは、だいたい「個人情報リストをたくさん作って売り払う」ことにあると思って

良いです。SPAMメールだってセールスの一種ですし、反応率0.001%だとしても1000万件送ったら100件の成果が上がります。これが住所まで入った個人情報だとしたら、家族構成もわかるようなリストだとしたら、オレオレ詐欺グループが高額積んで買ってくれそうなリストの出来上がりですね。コワイコワイ。

しかしセキュリティ対策も進化していますので、今日では黙っていてもひっかかってくれるユーザーは減多にいません。しかしユーザーが任意に実行させなければ、その後は自由にやりたい放題ということも成り立ちます。トロイの木馬型の攻撃です。何気ないメールの添付ファイルとしてプログラムがくっついてきて、実行してしまったら最後、犯人がリモート操作できるようになっていたりするわけです。

それでも不審なメールを開いたり、添付ファイルを実行してしまったりする人は少ないですよ、と思うのですが、これがまた結構いるものだから驚きです。

考えてみればオレオレ詐欺もこれだけ言われても注意の呼びかけが減らない、ということは、それだけ引っかかっている人が多いということですよ。

で、年金機構からの流出は同じくトロイの木馬型攻撃だったとのこと。年金機構の職員は怪しいメールを開いてしまうような人々なのか!とも思いますが、こちらは誰でも開いてほしい、というのではなく「標的型メール」だったと言うのです。

レポートを見てのと相当練り込まれた攻撃であるかのように思えます。タイトルや中身が、いかにも年金関連での通達だったりするような内容。添付ファイルはlzh形式で圧縮されています。lzhは日本独自の流通が行われている圧縮形式なので、海外製のウイルスが使ってくることはまずありえない形式。

一部にはlzhは日本ローカルだから大丈夫だというウワサまでありましたが、もちろんそれを逆に狙われています。送信元アドレスはYahoo!だったとのことですが(もちろん偽装でしょう)、yahoo相手のメールを開いてしまうというは、普段から個人のプライベートアドレスを使ったりしていた可能性もうかがえます。

ここまで狙われていたら、よほど普段から気をつけている人でなければ開いてしまうのではないかと思います。

今回は年金機構という、犯人にとっても取れば「おいしい」情報でしたので実行する価値があったのでしょう。そういう意味では中小企業が抱えるデータは犯人にとってさほど「おいしい」わけではないかもしれませんが、しかしこれに愉快犯が加わると、無差別に個人情報を流出させ、がんばっている企業の信用が失墜する可能性もあります。

各個別PCでのウイルスチェックはもちろん行うとして、添付ファイルの扱いには本当に気をつけたいといけません。可能であればメール以外の手段で送信元と信頼関係を築いた上で取り扱うようにしたいものです。

警告!



コンピューターの動作が遅くなっています!

いまずぐ直す

ピ
ン
グ
ラ
ン
通
信

第14号
2015年7月

じわじわ

or

ガシャーン

あなたは交通事故にあいました。
残念ながら、一緒に遊んでいた友人の一人が
なくなっていました…。

A 事故から奇妙な出来事が起きる。
閉めたはずのカーテンが開いていたり、夜中に勝手に
トイレの水が流れたり、何者かの気配がする。
怖くなって振り向くと、死んだはずの友がそこに！

B 事故から数年。別の友人と遊びにコテージへ。
急に天候が崩れ始め、閉じ込められる。
その時何者かがドアを叩く音が。窓を除くと死んだ
はずの友人が斧を片手に、道連れを求めていた！

AとBどっちが怖いですか？

A：日本脳

B：欧米脳

かもれません。
自分はAの、日本人タイプです。Bのあなた、コーラ好きでしょう？ウフ。
というのも、

(*A-A)

綿密に計算された寸分の狂いもない美しい姿が大好き

:-)

インスピレーションと閃きが生み出す瞬間の
きらめきに心打たれる

と芸術的、文化的な傾向があるんです。アメリカは一家団欒にダイハード見てるような国ですし(曲解)。
そしてこの傾向、「日本人が…」と冠がつく「得意」「不得意」ごとに直結してます。

ストーリーテリング(発表型)、改良、物事を
良くしていく事→綿密な分析による発想力で
未来を作っていく能力

得意

不得意

プレゼンテーション(提案型)、発明、
新しいことを作る→直感的な行動力で未来を
示していく能力

Aを選んだあなた「あー…そういえば、プレゼンとか苦手だな…あ…資料作るのは嫌いじゃないんだけど…」
それは、「感性」が「日本人」に傾いてしまっているから、うまくいかない可能性が高い。
Aを選んだあなた「えっ…!?嫌だ!だ、大事なプレゼンを成功させたい!」

え、今お茶飲んでる? NO! コーラ買って来ましょう、NOW!
指南書なんて読んでる場合じゃありません! 小手先の技術で乗り越えられるわけがない!
今すぐハリウッドアクション大作を注入して、感性を欧米に近づけるんだ! オススメはエクスペンダブルズ!
抜本的な欧米化! 朝はパン! 昼はヌードル! 夜はステーキ! スタローン見ながらポテト片手にビール飲んで寝ろ!
きっと、1ヶ月後には驚きの結果が出るはずですよ! (どちらにせよ)



Fujino

最近カプセルトイのコーナーをふと覗いてみると「いったい今何年なんだ!!」と思うことがしばしば。

私、幼稚園のときにセーラームーンのアニメ放送が始まっていわゆるど真ん中世代なんです。

20周年のときにリメイクやグッズのプロジェクトが始まったからというもの、当時のステッキやコンパクトの再販や
新規グッズなどが毎月のように出ま、当時を懐かしむ所謂アラサー女子の財布をことごとく痛めつけまくるわけ
(嬉しいけど辛い)。

セーラームーンだけならまだいい方で、少女コミックの「りぼん」や「なかよし」も節目の年を迎えグッズが出まきま
いるので、いくらお金があっても足りません。

90年代のアニメや漫画の作品が多くの人に長く愛されているというのはもちろんですが、なによりビジネス
的な話をすると、その当時子供だった世代が、社会人になり何年か経って、場合によっては昇級もしている
頃なので自由になるお金が出まきまいるころなんですよ。本当に上手いと思います。もう思惑にハマリ
まくってます! 悔しいけど買っちゃいますもの。

ターゲットを広く取ったビジネスももちろん必要ですが、爆発的な需要を見込めるところを
ピンポイントで狙うというのも、とまあ大事なんだなあとしみじみ
思う今日この頃なのでした。

アラサー女子の財布は空っぽよ!



Sayo